

人権 まんが 未来ちゃん

第54回

SNSで被害者にも
加害者にもならないために

作画 南一平



人権まんが 解説

スマートフォンが普及で、ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラムなどのSNSの利用が多くなりました。SNSは、趣味や写真、思いついたことをとても簡単に、瞬時に多くの人に発信したり、楽しみを共有することが出来ます。しかし、細かな言葉のニュアンスが伝わらず、いじめや仲間外れ、中傷を受けることがあります。また、軽い気持ちで書いたうわさ話や、事実と異なる書き込みは、拡散され、相手を傷つけることがあります。

先日の常磐自動車道での「あおり運転殴打事件」では、SNS上で「同乗の女」探しが行われました。事件とは全く関係のない女性の実名や顔写真までもが拡散され、その女性には大量の中傷の書き込みとともに、職場へ苦情の電話が殺到しました。女性は発信者だけでなく、転載した人を含め、法的措置も辞さない構えです。SNSは全ての情報が真実とは限りません。疑う気持ちを持って、発信・拡散するようにならねばなりません。